

取組の目的・背景

子供たちを取り巻く環境は、いじめ問題や児童虐待など、誰もが心を痛める事態となっております。このような時こそ、私たちの心にある「思いやりの心」をはじめとする道徳心を、今一度見つめ直し、子供たちと共に、学び・育てて伝えてゆく必要があると考えました。

取組の内容

2010年に511個の思いやり提灯から初めたこの事業も、2019年で10回目となり延べ9,526個の提灯を作成してきました。市内小学校・放課後児童会・保育園へスタッフが伺い、子どもたちに自分にとって「大切なもの」をテーマに和紙に絵を描いてもらい、一緒にちょうちんを製作していく、その過程においてもハサミなどの道具をお友だちと仲良く使ったり、譲り合ったり、作り方を下級生へ教えてあげたり、そんな大切な気持ちを伝えていきます。

取組の成果

自分の大切なものを絵にすることで、改めて気づきを与える。友達の大切なものに触れる事によって、思いやりがうまれる。子供たちが作る「思いやり提灯」が1ヶ所へ集められ、ろうそくの灯が点灯する。その灯りに友達や家族や市民が集まり、「思いやりの心」が伝播していくと考えます。

取組の課題と期待

提灯の数が増えるにつれ、実行委員会の負担が大きく、組織としての改革が必要である。市内全学校へ普及する事が出来れば、さらに大きな効果が期待できる。

建築士としての関わり

実行委員会の代表が会員であり、その他建築士会員企業も多く協賛しています。また、実施にあたっては、北海道科学大学と協力連携をとっている。



URL

<https://www.facebook.com/440943329264813/posts/3583876028304845/?d=n>

QRコード

